

宇都宮市立宝木小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思いますか」という設問に対する肯定割合は全国平均より4.7ポイント高い。算数での習熟度別学習の実施や学年で教材研究をしたり授業の準備や手立てを考えたりしたことなどで、きめ細かな指導や支援が少しずつ浸透してきていることが伺えることから、今後も指導を続けていきたい。

○「人が困っているときは、進んで助けていますか」という設問に対する肯定割合は全国平均より2.7ポイント高い。家庭での温かな支援や言葉かけがあり、共に助け合う気持ちが育っていると考えられる。このよさを学習でも生かし、共に助け合い学び合える学習集団に育てていきたい。

●学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強しますか」では、学年学習時間70分の時間を確保している児童が、全国平均より14.3ポイント低い。学習内容の確実な定着を目指すためには家庭での学習時間の確保が必要である。今後は家庭学習の必要性を児童だけでなく、学年だより等で保護者に周知することで家庭にも協力してもらい、家庭で学習する習慣を身に付けさせていきたい。

●「家で自分で計画を立てて勉強していますか」の設問に対する肯定割合は、全国平均より8.3ポイント低い。宿題は提出できるようになってきているが、自分で学習内容を考え計画的に学習することに課題がある。このことから、自分で計画を立てて学習を進める機会を意図的に設けたり、自主学習を推進したりすることで計画的に学習する習慣を身に付けていきたい。

宇都宮市立宝木小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・主体的・対話的な授業を目指した、一時間ごとの授業準備、評価時間の確保	・月1回の金曜日5時間授業の放課後を授業準備の時間として確実に確保するとともに、教師が授業づくりや学習準備に使える時間を作り出すことで、質の高い授業を実施していく。	「国語の学習が好きか」の設問に対しての肯定割合は、全国平均より6.6ポイント低く、「5年生までの授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるか」の設問に対しての肯定割合も6ポイント低くなっていることから、主体的に取り組むことについては課題が見られる。「分かるまで教えてくれる」という設問に対しての肯定割合は高くなってきていることから、きめ細かな支援としての効果は表れてきている。
・家庭学習の習慣化・継続化への手立てや取り組み方の提示	・家庭学習の習慣化が図れるよう、家庭と連携した学習がんばり週間を年2回実施している。また、家庭学習の進め方を配付し、「わかる。できる・覚える」の3ステップでのやり方を明示し効果的に取り組めるようにしている。	「家で自分で計画を立てて学習しているか」や「家庭での学習時間」の設問に対しての肯定割合は全国平均より低く主体的に学習することに課題が見られる。